



[ホーム](#) > [暮らし](#) > [ペット・動物](#) > 公益財団法人どうぶつ基金と協働して、さくらねこTNR活動に取り組んでいます



ペット・動物

- [> 公益財団法人どうぶつ基金と協働して、さくらねこTNR活動に取り組んでいます](#)
- [> 登録・手続き](#)
- [> 犬・猫に関する相談や苦情](#)

イベントカレンダー

施設案内

関連機関リンク

いいね! 0

ツイート

更新日：2021年10月4日

公益財団法人どうぶつ基金と協働して、さくらねこTNR活動に取り組んでいます

動物愛護の精神に基づき、地域に暮らす飼い主のいない猫（いわゆるノラ猫）たちと共存共生するため、地域猫活動である「TNR先行型地域猫活動」を自治会と共に取り組みました。

TNRとはTrap（捕獲する）、Neuter（不妊去勢手術）、Return（元の居場所へ戻す）を実施する活動のことです。



飼い主のない猫をめぐるのは、「猫の被害で困っている」、また一方で「猫を助けたい」といった声が寄せられています。この問題に対して、まず猫の数を増やさないためのTNRを先行して実施し、餌やりやトイレの始末など一定のルールのもと「地域の猫」として一代限りの命を全うさせ、飼い主のない猫に関わる苦情や、殺処分の減少に寄与することができます。

播磨町は、公益財団法人どうぶつ基金が推進する「TNR先行型地域猫活動（さくら猫TNR）」に賛同し、播磨町内で活動していただけるボランティア団体とも協働して、飼い主のない猫に関する問題に取り組んでいきたいと考えています。

なお、この活動での不妊去勢手術と予防ワクチン接種の費用は、公益財団法人どうぶつ基金にご協力頂きます。

猫が好き、猫が嫌い、猫を排除したくはないが被害を受けて困っているなど、皆さんのお考えは様々です。一度、みなさんの地域でもこうした取り組みについてお考え頂きますようお願いいたします。

「地域猫」とは

特定の飼い主はないが、地域住民によって継続的に給餌水等の世話をされている猫をいう。

「さくらねこ」とは

去勢・不妊手術実施済みであり、その目印として耳先を桜の花びらの形にカットされた猫をいう。



公益財団法人どうぶつ基金について

公益財団法人どうぶつ基金は、動物の適正な飼育法の指導、動物愛護思想の普及等を行い、環境衛生の向上と思いやりのある地域社会の建設に寄与することを目的に各種事業を行う団体です。

[公益財団法人どうぶつ基金 \(外部サイトへリンク\)](#)